

2024年5月29日  
ブラザー工業株式会社

## ブラザー工業株式会社 株主の皆様へのメッセージ

当社は、2024年3月13日、ローランド ディー. ジー. 株式会社（以下「ローランドDG社」といいます。）に対する公開買付けの開始予定を公表しておりましたが、その後、いわゆるマネジメント・バイアウト（MBO）のための取引の一環として実施されていたローランドDG社に対する別の公開買付けが成立したことを受けて、2024年5月16日、ローランドDG社に対する公開買付けを実施しないことをお知らせいたしました。

この間、株主の皆様におかれましては、日々変動する状況の中で多大なるご心配をおかけいたしました。皆様のご支援が当社にとって大きな励みとなりましたことを、まずは心より感謝申し上げます。

当社は、各種の企業価値向上策をはじめとする施策を通じて、ローランドDG社が中期経営計画で取り組まれた「Visual Communication-Other」及び「Digital Fabrication」等の領域での成長を含む事業ポートフォリオの転換のさらなる加速を行うことで、その企業価値を最大化させられることを確信しておりました。また、十分なプレミアムを付した公開買付け価格とすることで、ローランドDG社の株主の皆様にとっても魅力的な提案をご提示しておりました。

何より、当社は、ブラザーグループビジョン「At your side 2030」を掲げ、あらゆる場面でお客様を第一に考える「At your side.」の精神のもと、産業用領域の飛躍とプリンティング領域の変容により、変化の激しい環境に対応し、企業価値を最大化することを目指しています。本件においては、110年を超える歴史を有する事業会社である当社が、率先して大胆なM&A戦略を打ち出すことで、日本の市場や経済を活性化させ、社会の発展にも貢献していくという思いもございました。株主の皆様の中には、当社のこのような行動によって、今後の日本の市場全体への期待感を抱かれた方もいらっしゃるのではないかと拝察いたします。

他方で、当社は、ブラザーグループグローバル憲章において「順法精神・倫理観」を行動規範として定めており、その活動においては、関連法規、規則を順守し、文化を尊重するとともに、最高度の倫理観を持って行動することを宣言しております。当社としては、本件でのローランドDG社の取締役会及び特別委員会との協議及び交渉の経緯、報道対応等においては、当初から一貫して、当社による経営支配権の取得を阻止することを実質的な目的として行われたことが疑われる対応や、当社の信用を毀損するような説明がなされたと考えております。ブラザーグループの一員として事業活動を行うにあたっては、上記のグローバル憲章を尊重いただくことが大前提となる場所、ローランドDG社の経営陣との間では、そのような確信を有するに至らなかったことが、公開買付けに至らなかった最大の要因であった点は改めて強調させていただきます。そして、当社は、全ての製品について誇りと責任を持ってお客様に提供しており、産業用印刷の分野においても世界中のお客様から高い評価をいただいているものと自負しております。当社の製品の価値を損ねるような内容の発信・報道等については、今後とも当社の考えや取組みを皆様にご理解いただけるよう誠意をもって、適切に対応してまいります。

言うまでもなく、当社は、これまでローランドDG社との間での共同開発等を通して認識した同社の事業の価値や、従業員の方々の優れた能力と貢献を、現時点でも高く評価しております。当社が提案した内容は、従業員の方々の雇用を維持し、各ステークホルダーの皆様の魅力のあるものであると信じておりましたので、その実現に至らなかったことは残念ですが、ローランドDG社の取締役会の皆様が選択されたMBOの体制のもと、従業員の方々の雇用が維持され、引き続きその能力を発揮し、更なる活躍をされることを心より願っております。

そして、ブラザーグループは、これからも、あらゆる場面でお客様を第一に考える“*At your side.*”の精神に基づき、モノ創りを通して優れた価値を創造し、迅速に提供していくとともに、市場から求められる多様な要請や期待にすばやく応えるために、あらゆる変革を恐れず、グローバルな視点で経営を行っていくことをお約束いたします。本件のような、大胆なM&A戦略の活用も例外ではなく、当社は引き続き産業用領域の飛躍及びプリンティング領域の変容を含めた事業ポートフォリオの変革を推進するべく、先例にとらわれることなく経営戦略を遂行してまいります。

また、近年、日本のM&A市場が公正で健全な姿に発展していくための機運が形成されてきておりますが、本件を巡る一連の動きや結果により、そうした歩みが急速に後退してしまわないことを切に願っております。当社としては、日本において競合的な企業買収にチャレンジした数少ない事業会社として、本件における経験を活かして、今後の日本市場のM&Aが正しい方向に進むよう、より良い環境整備にも前向きに貢献してまいりたい所存です。

株主の皆様の温かいご声援は、当社にとって大きな励みであり、一同、改めて決意を新たにしております。これからも、更なる企業価値の向上と持続可能な成長を目指し、全力を尽くしてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上